

修学旅行再現の記

高女第五回卒
山田朝子



新年おめでとうございます。
高女五回生の私たちは揃って七十才に入りました。卒業以来激動の半世紀を越えて、なおクラスの七〇%がそれぞれに長寿を感謝しております。

すから正に感無量です。名古屋・東京からも参加、昔の校歌に果を揃え、温泉にあたたかみ、果てのないお喋りに夜更けるのを忘れました。

在学時代、生真面目な勉強

昨年晩秋にはその内の三十名ほど、在学四年の半分をお世話になった多賀・柴山（兵藤）両先生と共に下呂温泉へ一泊旅行に出かけました。母校の地関市在住会員の肝入で、尔来はじめて床を並べるので

学生気分に戻って

高校第18回卒 岩田 環

ば、誘われるように詩吟、歌謡、輪になってのカワサキやヤツチタ。良妻賢母の襟に穿められて青い頃には夢にも見なかつた明るい余生ではありませんか。先生方もお喜びで、笑いながら一しよに手を拍っておられました。

翌日は禪昌寺に詣で、山菜料理に舌鼓。誰も彼も屈託なく、修学旅行の心に帰った思いでありました。そして互に健かさを守つての再会を約しながら別れたのでした。

終りに当り、級友・同窓皆様のご多幸をお祈り申します。

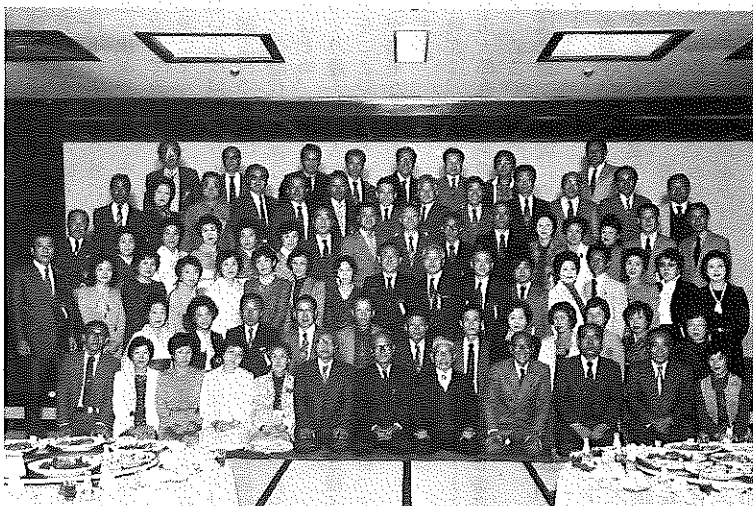
卒業三十周年を
記念して盛大な会に
高校第4回 卒業生幹事
昨年十月二十四日岐阜グラ 事務局の経過報告、会

卒業生幹事



昨年十月二十四日岐阜グラ
ドホテルに於いて、恩師の
川、中村、西部、伊藤、安
田、青木、安田富、奥田の
八人の先生を迎えて、同
年の記念同窓会を開催しま
した。杉山会長の挨拶に続い

研



事務局の経過報告、会計報告のあと、先生方を代表して早

デザインし、現小林校長先生をはじめ、在校時に大変お世話になった諸先生や、大塚同窓会長、また同窓生からも沢山の寄稿をいただきました。また住所録も記載して立派に出来上り好評でした。母校に十冊寄贈してありますので御覧下さい。尚、参考までに「

冊二千円となりました。

した。

二時から五時半までの三時間半がアツという間に過ぎ、名残り惜しい先生や同窓生と別れを惜しみつつ家路につく人、二次会へとさらに足をのばす人もありました。

この三十周年を記念し、記念行事として記念誌の発行と母校に記念植樹をいたしました。記念誌は旧母校を表紙に

植樹の方は母校の中庭に安田正先生の筆により記念碑を建立し、あわせて十数万円の費用となりました。

昭和ひとけたの私どもも漸く五十路になりましたが、これからが人生の真随と思ひ大いに頑張りますので、今後とも同窓会活動に、より一層の御理解御協力のを――。

《特集》
中庭造園工事急ピッチ
—完成は三月末の予定—



発 行
岐阜県立関高等学校
同窓会会長大塚暉夫
印 刷 所
ム ト ウ プ リ ン ト

昨年から始まった母校の
庭の造園整備計画は、一部計
画の手直しなどもあって予定
より少し遅れ、今月末の完成
を目指して、目下急ピッチに
工事が進行中です。



完成したレンガ張りの舗道。
左端が同窓会寄贈の苗木

中央の池は校章を形どる
レンガ張りの庭の中央部に
現在の校章の形をした池が出
来ることになりました。校章
の桜の部分が池になり、松の
部分に三つの花壇が作られる
予定です。

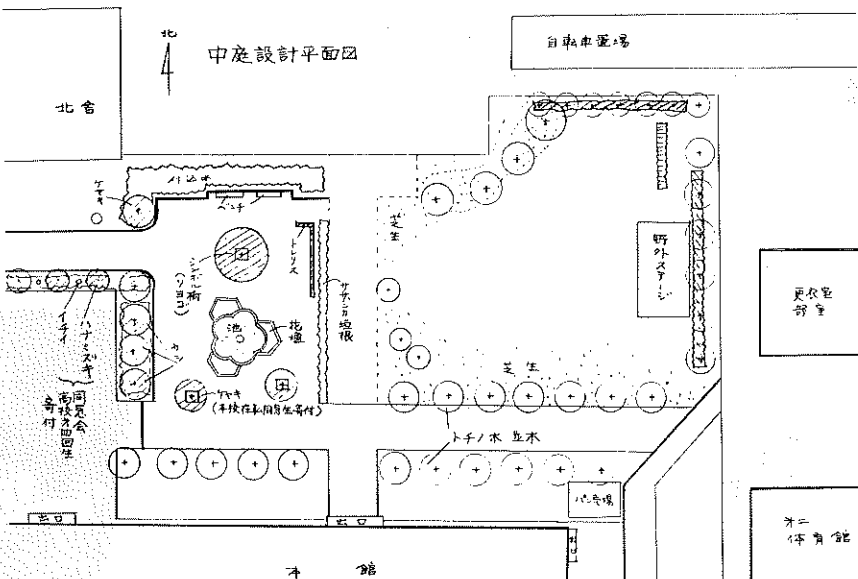
シンボル樹にソヨゴの木
池のすぐ北には、庭園のシンボルとして、グランド西の庭からソヨゴの木が、先月在校生一年生の手によつて移植されています。

トチノ木並木の舗道から
芝生の庭園へと結ばれる
本館裏に沿ってトチノ木並
木が完成すると、野外ステー
ジと築山のある芝生の庭園へ
つながることになります。

これらが完成のあかつきには、右下の図のようになる予定ですが、将来あるいは校舎増築の可能性なきにしもあらずとのことで、その場合現在北の倉の東側に新校舎を置くことになれば、本館との通路がこの庭の中央部に必要となりそうです。このため計画の一部は目下やや流動的になっているとのことです。

同窓会からも

二〇〇万円の援助決定



「同窓会通信」で一部既報となつていますが、当同窓会でもこの庭造りに協力をすることに、二百萬円の援助が決定されています。この二百萬円は庭造りの費用の一部を援助することになりますので、具体的な「もの」としては残りませんが、面目を一新した素晴らしい庭になる予定です。

素晴しい庭になる予定ですよ

高校四回卒業生がイチイとハナミズキを記念植樹

高校第四回卒業生のみならずが場所により予定されています。

現在関高校に在職中の同窓生職員計10名もこの機会を記念すべくケヤキを一本植えることになり、池の南西のあたりが場所により予定されています。

ケヤキを記念に寄贈

母校に在職中の同窓生も

ケヤキを記念に寄贈

植樹をすることになり、ハナミズキとイチイの木がすでに植えられました。このいささかについては本紙四面の記事を御参照下さい。

川島町の篤志家が
なんじやもんじや
の木を寄贈

この中庭造りの話がどこをどう伝わったのか、羽島郡川島町の篤志家が匿名でナンジヤモンジ屋の木を寄贈したいと申し出てくれました。この種の話には特に早戸の方で関高とは縁もゆかりもない方なのですが、是非とも、このことで学校側は有難くお志をお受けする事になりました。



今年の卒業生が
記念品として
庭の池を贈る

今年度卒業生三二六名の卒業記念品は上記中庭の池を寄贈することになりました。

折角の記念品なので卒業式までになんとか完成が期待されていましたが、工事の遅れていきましが、工事の遅れで基部の打ちこみの段階までになっていきます。完成するまでの池の側面に「贈、昭和五十八年三月卒業生」と彫った石板がはめこまれます。寄贈者の卒業生のみなさんには母校へのお立寄りの折お確かめ下さい。

大塚会長が

出席して同窓会

今日第35回の卒業式に巣立
った卒業生は三一六名。昨二
月二十八日に恒例の同窓会入
会式が体育館で行われ、大塚
会長が出席して、お祝いと入
会歓迎の言葉を述べました。

仙厓和尚ゆかりの両地に住んで

花田 弥郎先生

(在職 昭和7年〜21年)
福岡県大宰府市檀寺四四

去戌年はおらが春とめでたく迎えたが、期待は外れて療病と静養の年となり、幸い経と諦め健康で生き甲斐ありたきも回復して無事八十五度目の新年を迎えました。

仙厓和尚の古人の哥(老人六歌仙)の中の「しわがよるは黒が白く出る腰曲る頭がはげるひげ白くなる」又「手は振ふ足はよろつく齒は抜る耳はきこえず目はうとくなる」をわが身に顧みて或は身の老衰を憐れみ或は未と意を安んじたり悲喜交々であります。道俗の教化約五十年晩年は寺



▲門司市の公園でお孫さん達に囲まれて 花田弥郎先生(中央)

内の塔頭幻住庵内の虚白院に閑居して専ら詩文書画を嗜み酒脱飄逸な多くの作品を残されたのは周知のことでありま

す。聖福寺は東西禅師の建立で日本禅宗史上最古の道場、山門の「扶桑最初禅窟」の額は後鳥羽院の下賜と伝えられ仙厓和尚の落款には屢々此語が冠してあります。

幼少の頃から「仙厓さん」の名は聞いていたが関町に住んで、その誕生の地が武芸の高野であることを知り、入親しさを覚えたものであります。多年近くに住みながらその生地や得度の清泰寺など、ゆかりの地を訪ね得なかつたのは後年残念に思つたことであり

ます。

夢世 仙厓

生れ来て なにを愛き世と厭ふらむ 厭ふ心ぞ 憂き世なりけれ

さて私が武儀高女で学縁に結ばれたのは昭和八年卒業の第十回生から二十年入学の皆様の健康と御幸福を祈つて静かな学舎であります。

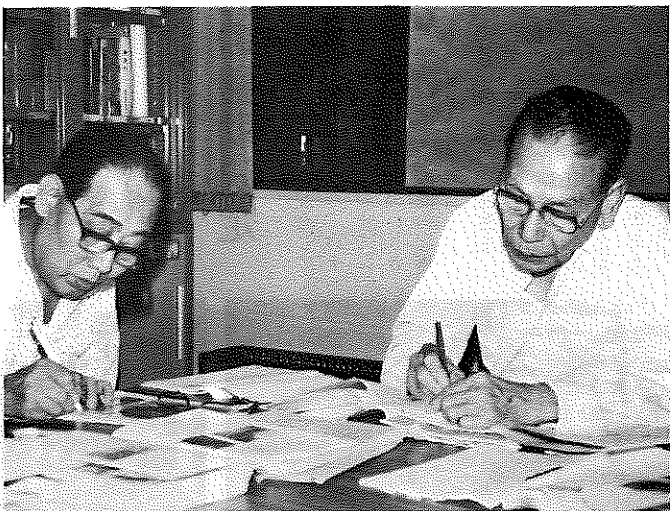
余生に思う

高橋 俊示先生

(在職 昭和28年〜31年)
揖斐郡久瀬村西津汲

四十数年の教師生活を終つて、揖斐谷に帰つてからもう十七年になる。その頃は日本の急激な変化が山村にも及び初めた頃であった。

親譲りの古家を改造して余生の安居とし、狭い庭に池を作つて鯉を泳がせ、山どりの盆栽をつくつたり、環境美化運動に協力して洋式花壇をつ



▲町史編纂中の高橋俊示先生(右)

供給出来て、土地の生産力の有難さに感謝することも知つた。

適度の運動をする空気の清澄な山の生活は、健康維持にも役立ち、満七十七歳の二月に上行結腸の手術を受けた外は、喜寿を迎えた今日まで健康に恵まれて、医師の厄介になつていない。

過疎の山村生活は刺激に乏しく、老後のボケを早める心配があり、家族や友人からも帰郷に対して反対や忠告があった。私もこの点については気にかかぬわけではなかつたし、自信もなかつた。

昭和四十八年漸く刊行を見たが、この仕事の過程で二名の委員が死亡して、途中から編集の仕事の大部分を負う結果となつた。以後日坂小学校百年史を昭和五十年に、岐阜県地名辞典(角川版)が同五十五年、また、近くこの二月には春日村・藤橋村の両村史が出版されるが、次々好きな仕事の御手伝いさせたい。好まぬことが出来て、頭の体操を充分続けられ、今のところボケの進むのにブレーキになったのである。

しかし日本人の平均寿命を越える七十七歳になつてふりかへて見ると、ここまで元気に生きてこられたことは、親を初めとする血縁のものから与えられたもののお蔭であることが多し、さらに、私の生きて来た社会での同僚や隣人に支えられての賜であ

神代(佐藤)正枝先生

(在任 昭和4年〜8年)

五十年前に御校に奉職しておりました者に思い出の記事を書く機会をお与下さいまして、ありがとうございます。

今なお、かつての生徒さん方からお便りをいただき、いつも嬉しく思っております。

桜ヶ丘の地に開校校としてまずまず発展の御様子を同窓会報で知り、嬉しく思い、折あらばお訪ねしたいと思つた。かつての安楽山、三千石の田んぼ、中池など、どのようになつてしまつたのだろうか、青春時代を過ごした御地をなつかしく思い浮べて居ります。

おかげさまで健康に恵まれまして、奥様グループに古典の講義をしたり、学生の個人教授をしたりしております。

趣味として俳句をたしなみ、詩吟に熱中し、百人一首で遊び、楽しい余生を送つて居ります。

同窓会の御活躍を祈つております。

(東京都大田区中央四一四一〜二)

栗田よし先生

(在任 昭和5年〜11年)

先日は思いがけない「桜ヶ丘だより」をいただき、ありがとうございます。

昭和五年新卒でお世話にな

春日文英先生

(在任 昭和24年〜25年)

丁度八年前の春に高女第二十一回クラス会のお招きで、あの校舎に再会させて頂きました。寄宿舎の建物はずい

に無く、物置きになった旧割烹室、水の枯れた古い井戸の前立ちつくし、感慨無量でした。同時にまた新制の高校として生れ変つた堂々の校舎をよそながら拝見して嬉しく

力強く、広々とした校庭も素晴らしいと思ひました。

恩師短信

わが茶道に親しみ、今年の初釜も一段落致しまして又新しい気持ちになつてお稽古にはげ

ふたいと思つております。

ふり返りますと、ただ一生懸命だけで、すべてに未熟な時代でしたが、武儀高女の時代にこそ今日の私の源泉を見出すことが出来、そのことをいつまでも大切にしております。

学校の御発展、諸先生方や卒業生皆様の御幸せをお祈り致します。

(福岡市中央区大名一丁目九一九)

林 領一先生

(在任 昭和24年〜25年)

私が武儀高等女学校にお世話になつたのは昭和二十四年五月三十一日から二十五

月まででした。当時私は県のバレーボール協会の副会長になつた時で、駒形校長から懸望されて女学校で一番強いチームのところへ喜んで参り

ました。そして九月の県下の大会を女学校のコート二面で盛大に行い、好成績で優勝しま

した。小柄なチームでしたがまとまつた立派なチームで、審判長をしていただこうと思ひました。

しかし二十五三月には岐阜県立大学の助教として転任し、四十一年まで勤務して

停年退職し、四十四年四月から東海女子短大の教授として現在に至つております。関高

校から入学してくる学生から色々現状を聞き、立派な高校としての現状と昔の女学校時代を想ひ浮べ無量の感に致し

ます。関高校の益々御発展をお祈りします。

(東海女子短大教授
岐阜市曙町一八)

安田富士子先生

(在任 昭和20年〜45年)

武儀高女卒業以来五十五年

五十七年度 部活動等状況 (主なもの)

剣道 インターハイ予選男子団体三位(東海大会出場)、個人女子二位永瀬幸(全国大会出場)

陸上 ヤリ投げ県大会二位山田直人(団体に出場)、一〇〇mハードル後藤佳樹、一五〇〇m障害美濃羽誠、一五〇〇m遠藤豊以上四名東海大会出場

水泳 一〇〇mバタフライ二〇〇mバタフライ安藤越代、一〇〇m背泳一〇〇m背泳古田直子、一〇〇m平泳二〇〇m背泳長屋厚子、個人メドレー小椋浩美、以上四名東海大会出場

演劇 県高校演劇大会努力賞

コーラス NHK・コンクール県大会奨励賞、全日本合唱コンクール県大会銅賞

ブラスバンド 中日吹奏楽県大会準優勝

読書感想文コンクール 薫田彰子県予選特選、全国入選

伊藤信春先生

(在任 昭和21年〜29年)

月日の過ぎ去ること早や三十年になろうとしています。馬齢を加え、ちよつとボケたといわれる昨今、未練がましく未だ教職についています。

この辺で区切りをつけては、と最近とく考えています。

先刻御承知かと思いますが、自坊を再建して旧来の面目を一新いたしました。関の方へお出かけの折は是非お立寄り下さい。

息子夫妻共々、大家族で暮して老後を楽しんでおります。二足わらじの生活も最後になるかもしれないと、毎日精勵している現況です。

同窓会も発展のご様子、益々の発展ご活躍を祈つて居ります。

(関市西日吉町)

関高校プラスバンド部

第13回 定期演奏会

3月26日(土) PM 5:30

関市文化会館大ホール

¥100 (入場料)

同窓会総会

五月十四日(土)の予定です。追って御案内送ります。